

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回日向市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和5年11月15日（水） 13時30分から15時00分まで
開催場所	日向市役所4階 第1・2・3委員会室
出席者	<p>委員 15名全員出席</p> <p>本山隆太郎会長、足立佳代副会長、平田康広委員、井上和臣委員、河野悦子委員、岩田政詞委員、橋本博委員、藤井さとみ委員、荒神雅彦委員、田原千春委員、下田ゆかり委員、横山友梨子委員、高橋悦子委員、岩本倫尚委員、酒井玉美委員</p> <p>事務局：4名</p> <p>総合政策部 日高部長、総合政策部 地域コミュニティ課長兼人権・同和行政・男女共同参画推進室 東原室長、総合政策部 総合政策課 女性活躍推進係 高村主事、総合政策部 地域コミュニティ課 人権・同和行政・男女共同参画推進室男女共同参画推進係 林田</p>
議 題	「第6次日向市男女共同参画プラン」（令和4年度分）施策評価について
会議資料の名称及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・日向市男女共同参画推進審議会委員名簿 ・第6次日向市男女共同参画プラン ・令和4年度「第6次日向市男女共同参画プラン」関連事業実施状況報告書（案） ・自殺防止パンフレット、日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんびあ」講座チラシ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>■開会（司会：東原課長兼室長）</p> <p>■議事（進行：本山会長）</p> <p>令和4年度「第6次日向市男女共同参画プラン」関連事業実施状況報告書（案）に基づき、事務局から説明を行った。</p> <p><意見・質疑応答></p> <p>主要課題1「男女の人権の尊重」を踏まえた人権に関する教育・学習の充実について</p> <p>（委員） 人権・同和関連の講話について、市民よりも教職員や市職員の参加者が多い。誰もが参加しやすい開催方法に変えてみてはどうか。</p> <p>（事務局） 市の同和问题市民講演会及び人権同和教育研究大会については、全ての教職員に参加していただくことをひとつの目的にしており、このように取り組むのは県内で本市のみ。人権の課題を我がごととしてとらえ、人権感覚や人権意識を高めてもらうため周知・啓発に努めたい。参加者を増やすには、目的を持ってターゲットを絞</p>	

るなどの工夫も必要だと思う。委員の皆様からも参加したくなる講演会等のアイデアをいただきたい。

主要課題3 多様性の尊重と国際理解について

(委員) 性的少数者に関する市民向け啓発、出前講座等参加者数が低調している要因は。

(事務局) コロナ禍もひとつの要因と考える。今後、オンラインなどを活用した方法なども検討し、広報の周知等を図っていきたい。

(委員) SOGI の概念は、学校教育の中ではどう実施されているのか。

(事務局) 学校教育課に確認し、別途回答する。

※後日、学校教育課へ確認し、次の主旨の回答がありました。

「性自認や性的指向については、学校生活全般を通じて行われる、他者の痛みや感情を共感的に受容できるような想像力等を育む人権教育等の一環として、状況に応じて取り上げることとしている。今後も学校生活全体の中で、いかなる理由でもいじめや差別を許さないといった、適切な指導や人権教育の推進を図りながら、悩みや不安を抱える児童生徒に対する相談体制の充実を中心に据え、多様性への理解や人権感覚の醸成に取り組んでいきたい。」

(委員) 学校教育の中で、性別で分けなければならないところ、性別を問わず一緒にできるところを区別し、一緒にできる部分については保護者への説明が必要だと思う。男女の違いではなく個人の違いを大人も理解しなければならない。

(委員) 外国人の方々へ、防災情報はどのように伝えているか。

(事務局) 外国人向けの防災観光バスツアーの開催や、外国人向けに「やさしい日本語」等を通して取り組んでいる。

主要課題4 働く場における女性参画推進と「仕事と生活の調和」に向けた就業環境の整備について

(委員) 男性の育休取得について、市職員はどれくらい取得できるのか。

(事務局) 長期であれば1年単位、短期であれば1～3ヵ月など職員に応じて決められる。長期間で休暇を取得する職員も多く、職員が休める体制整備も進めていきたい。

主要課題5 家庭における男女共同参画推進と困難を抱えた人に対する環境整備について

(委員) ごみの分別が区への還付金など地域の利益に関係することを、広報紙への記事掲載やごみ集積所への張り紙を通じて、状況を伝える方法を検討すると良いと思う。外国人の方にもごみの出し方を教える講座を行っているが、このような取り組みは必要だと思う。

■ 閉会